

Hot And New South Akita Npo

8

August
2017
Vol.124



セミナーの部

講師：秋田大学教授 石沢真貴さん



地域円卓会議の部

ファシリテーター：平元美紗緒さん

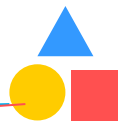
◆表紙の紹介◆「セミナー&円卓会議」

7月8日、横手市山内公民館において、トヨタ財団助成事業「地域の持続性を考えるセミナー&円卓会議」が開催。セミナーの部では講師の秋田大学教授石沢真貴さんが、県南の限界集落での取り組みを事例に挙げ、日常生活における交流がコミュニティに変化をもたらすことなどをお話しました。地域円卓会議の部ではファシリテーターの平元美紗緒さんの進行により「山内の資源を探ろう」をテーマに意見交換を行いました。

◆目次◆

- P2 活動ウォッチング 特集：サンソンプロジェクト Vol.2
- P3 活動ウォッチング 狙半内むらあるきマップ作り
小松川いきいきサロン
- P4 わくわくげんき 角間川ラバーズ
- P5 CSR 川連運送株式会社
- P6 助成金情報





THEME_ボランティア/NPO

特集：サンソンプロジェクト Vol.2 地域の持続性を考えるセミナー&円卓会議 ～次世代につなぐ里山のなりわいづくり～

DATA_団体情報

山内南共助連合会
サンソンプロジェクト代表/石沢 達雄
横手市山内三又字上野 11
TEL:090-5844-4954

「サンソンプロジェクト」では、「地域の持続性を考えるセミナー&円卓会議」を横手市山内公民館において、7月8日に開催しました。

持続可能なコミュニティの可能性

セミナーの部では、地域住民を始め、横手市共助組織連合会、観光推進機構、商工会、企業、学生、議員、行政など様々な立場の方が、およそ130人が集まりました。社会学専門の秋田大学教育学部文化

学部石沢真貴教授を講師に迎え、「変わりゆく地域と持続可能なコミュニティの可能性」をテーマに秋田県南部の



聞き入る参加者

限界集落での活動の取り組みについて、事例発表されました。地元にある資源を再発見・再評価し住民ができることから試してみるなどの提案があり、参加者は熱心に聞きっていました。

地域のこれからを考える

地域円卓会議の部では、ファシリテーター平元美沙緒さんの進行により、「山内の資源を探ろう」をテーマに事前申し込みの約30名が5グループに分かれて、意見交換を行いまし



円卓会議での意見交換

た。グループごとに、各分野からさまざまな立場の方が集まり、地元の方には、自分が思う山内の資源を紹介してもらい、地元以外の方には資源を探るために地元の方に聞きました。「自然が豊かであり、たくさんの山菜名人がいること。平和街道や温泉があること。」などがあげられ、地域内外の目線であげられた意見を共有しました。

未来の担い手の声

今回、増田高校から4人の学生が参加してくれました。参加者の一人、農業科学科2年高階翔馬さんの感想です。「講師の石沢先生のお話を聞いて、今の山村地域の現状などを知ることができました。特に興味を湧いたのは、三世帯世帯数の減少で、一人暮らしや夫婦だけの世帯が多いことがわかりました。

意見交換では、山内に初めて来た人が山内をどう思っているかを知ることができました。私は山内に引っ越してきて5年経ちますが、今日は地元の大人から知らなかったことをたくさん教えても

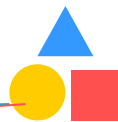


感想を話す高階さん

らうことができました。今回セミナーや意見交換に参加して、私が知らなかった山内の魅力を知ることができて、よかったです。」

このセミナーは、トヨタ財団助成事業の一環で行われたものです。多くの方のご協力に支えられてキックオフすることが出来たようです。今後はフィールドワークなどの開催も予定されているそうです。今後も山村だからもつ地域の良さを見つけ、未来の担い手を地域で育てる「サンソンプロジェクト」を次世代につなぐ事業として、応援していきます。

(熊谷淳子)



「狙半内むらあるきマップ作り」におじゃましました。

市民活動団体「横援隊・よこてルーターズ」は、横手市の魅力を応援する団体として活動をしています。7月14日には、フィールドワーク「狙半内むらあるきマップ作り」を開催しました。横手市増田町狙半内を実際に足で歩きながら、外部の新鮮な目と地元の密な情報を合わせ「見える化」「共有化」することで、狙半内の自然や暮らしの中にある真の魅力を掘り起こし発信していくための情報を収集するために行われました。

参加者20名は、狙半内地域を上畑地区・滝ノ下地区と2班に分かれて歩きながら「これなに?」「気になる!」など、狙半内の魅力的なポイントを、参加者みんなで発見しました。気づいたことを思いのまま写真に撮ったり、地元の人に聞いたりしながらメモを取り、むらあるき後、お互いに情報を交換しながら、マップづくりをしました。

夜の野外活動としては、地域の方々とバーベキュー

をしながら星、蛍を観るなど狙半内の魅力を堪能した一日でした。
(熊谷淳子)



狙半内を歩きながら魅力を集める参加者



作成されたマップ



地域の方々と参加者によるバーベキュー交流会

「小松川いきいきサロン」におじゃましました。

平成29年度秋田県南部男女共同参画センター自主事業として、7月12日に小松川いきいきサロン（横手市山内）を参画センター職員が訪問しました。

当日いきいきサロンでは、夫婦参加を含む15名の参加がありました。参画センター職員による朗読劇では、認知症・悪徳商法をテーマに、地域や家庭で日常に起こりうる「こんな時どうしたらいいの。」を改めて考えもらえる内容で、参加者は関心をっていました。また、センターで作成した「男女共同参画かるた」を使用した交流会が行われました。かるたの句は、身近に男女共同参画を知る内容となっており、楽しみながら男女共参画を



「男女共同参画かるた」の一例

考える機会となったようです。

南部男女共同参画センターでは、「男女共同参画かるた」を無料貸し出しています。地域の行事等にご活用ください。
(熊谷淳子)



左：センター職員による朗読劇の様子、右：聞き入る参加者



「男女共同参画かるた」を楽しむ参加者

わくわくげんき Vol.4

大仙市角間川において、「歴史を感じながら角間川の魅力を発信していきたい」と活動している「角間川ラバーズ」の活動について、横手高校定時制ライターがお聴きました。



角間川ラバーズ会長
鎌田 俊さん



▲取材の様子

落語会のちらし▶



団体名の「角間川ラバーズ」の意味は、角間川を愛している人達という意味だ。

角間川は、元々は、平鹿郡に属していたが現在は、大仙市角間川となっている。角間川には、自然や蔵などがあり、昔はとても栄えた町だ。その良さを現在の角間川の人たちは、知らないという。鎌田さん自信もその良さを知らなかったと話す。

「元の昔の角間川を取り戻したい」という思いから地主の蔵の公開や、様々なイベントを行って栄える街づくり活動をしている。現在、メンバーは鎌田さんをはじめとする、横手や角間川から集まって来ており 11 人で活動を行っている。これからも、地元へ恩返しをし、古い蔵の魅力を知ってもらい、若者や外国人や高齢者などにも来てもらいたいと語った。昨年は、本郷家で落語会を開催。90 名のお客さんが来てくれて嬉しかったという。
(佐藤理湖)

「角間川ラバーズ」では、古き良き角間川の魅力を知ってもらうための活動をしている。昨年 11 月には角間川町の街づくりを考える「角間川の日」を開き、様々な年代の人々と意見を出し合った。また、近隣住民に協力を仰いで、北島家の掃除を行い、北島家を利用して落語会を呼び込んだ。この落語会の一番の目的を鎌田さんは「実は角間川の魅力が地元の人はなかなか分かっていけない。町民に北島家の内側の風情と素晴らしさを見せたかった。」と話す。

活動の最終目標についてお聞きしたところ、「角間川の何がすごいのかを公開できる町にし、昔の古き良き角間川を取り戻して、老若男女、外国人も行きたいと思えるような町にしたい。街並み以外にも角間川の伝統的な食べ物や祭りなども発信していきたい。そして周辺地域の発展にも繋がっていったらよいと思う。」と熱く語ってくれた。

(諸越知美)



▲角間川の日チラシ

鎌田俊さんの連絡先

大仙市角間川町字町頭 180 番地 19

TEL : 080-1827-0720

今後の活動 : 「温故創新」

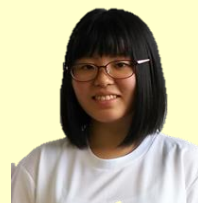


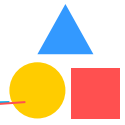
取材して感じたこと

私は、鎌田さんの角間川への思いがよく伝わりました。そして、私自身も今住んでいる十文字のことがあまり好きではなかったが、今回のお話を聞いて地元に対する思いが変わりました。角間川は、大曲に行く時など、たまに通ったりする道で、素敵な蔵などがあるとは知りませんでした。その蔵の壁は、一つ一つが違う色というのが魅力的だと思いました。これからは、角間川のためにたくさんの活動をしてほしいと思います。(佐藤理湖)



私は恥ずかしながら、この取材をさせて頂くまで角間川という名前も場所さえも知りませんでした。しかし、鎌田さんの角間川に対する思いを伺って、その魅力がとても強く伝わりました。今年の 10 月 14、15 日には、地主の屋敷を公開する予定になっており、観光ガイドには地元の小中学生が参加するそうです。角間川ラバーズの皆さんが愛する角間川の魅力を、是非とも現地で感じたいです。(諸越知美)





CSR<安全確保>の取り組み

CSR 経営が、業務の遂行を支える
～徹底した取り組みは、安全確保のために～

DATA_団体情報

川連運送株式会社

代表取締役社長 阿部 久

湯沢市川連町道上 70

TEL:0183-42-2171

FAX:0183-42-2172

物流を担う“地域の会社”

湯沢市の観光スポットや特産品を描いたトラックが、同市から首都圏や仙台市までの間を走っています。運行しているのは川連運送株式会社。同社では宅配便や引越サービス、ごみ収集のほか、秋田県内の生鮮食品を県外の市場等に輸送しています。「地域の方々に助けていただいた恩返しをしたい」と語るの

は、社長の阿部久さん。川連運送は地域の特産品を PR するため、独自にレトルトカレー等の商品を開発、販売もしています。



自費制作した湯沢市を PR するラッピングトラック

これらの活動を支えるのは、「輸送の安全こそが最大のサービスである」というモットーです。車両の保守管理だけでなく、社員教育や働きやすい環境づくりに力を入れています。

安全を確保するために

事務所で植物や金魚、セラピー犬*1を飼育。長距離運転から戻ってきたドライバーを癒やすことで事故防止につなげようとしています。さらに驚くのは、安全を確保するための指導や研修機会の頻度です。全国トラック協会が義務付けている講習や外部主催の講習会に参加するだけでなく、月 1~3 回、独自に社員研修を実施してい



朝礼でのヒヤリ・ハットへの注意喚起

ます。加えて、ドライバーには毎回の運行終了後にヒヤリ・ハット*2の報告を求め、集計・分析し、会議で指導方針を定め、週 1 回、社員で共有してい

ています。その他、月末には事故防止対策会議を開催し、対策をとっています。尚、8 月は熱中症対策がその 1 つで、塩飴と水素水サーバーを購入し、管理者が運行前のドライバーに配って注意を促すのだそうです。

また、同社では走行時間や走行速度などを記録する「デジタルタコグラフ」や「ドライブレコーダー」を全車両に搭載。管理者が交差点ごと



動画で視覚的に自分の運転を確認できる

の記録をチェックし、改善すべき走行があれば終業時にドライバーに個別指導しています。他にも、事故を起こさなかったドライバーを表彰し、特別手当を支給する「無事故競走」の実施等、社員の安全意識を高める工夫を行っています。

地域を支える“架け橋”として

事故予防の取り組みも去ることながら、川連運送では走行中に他の事故現場に遭遇することも想定し、救命救急講習も行っています。これは「公道を使わせていただいている」という沿線地域への感謝の気持ちによるものとのこと。幸いにして、これまで遭遇したことはないそうですが、社員が地域生活の中で役立てた実績につながったそうです。

「事故防止のための取り組みは、物流企業としての義務。しかしそれ以上に、私たちは生産者が商品にかけてきた情熱や愛情も含めて消費者に届ける架け橋になりたいと考えています」。「笑顔の連鎖を創造します」一川連運送にとって安全確保の取り組みは、企業理念の実現に欠かせないものとして位置づけられ、今日も徹底されています。（奥ちひろ）

*1 セラピー犬：心身に痛手を受けた人の不安を減らし、気力を高める働きをする訓練を受けた犬。

*2 ヒヤリ・ハット：重大な事故には至らないものの、突発的な事象やミスにヒヤリ・ハットとする経験。

◆助成金情報◆

第11回かめのり賞募集

かめのり賞は、日本とアジア・オセアニアの若い世代を中心とした相互理解・相互交流の促進や人材育成に草の根で貢献し、今後の活動が期待される個人または団体を顕彰します。

応募締切：平成29年9月22日（金）
 詳細：<http://www.kamenori.jp/kamenorishou.html>
 連絡先：公益財団法人かめのり財団「かめのり賞」係
 TEL：03-3234-1694
 FAX：03-3234-1603



重い病気を抱える子どもたちの 学び支援活動助成

重い病気により長期入院や長期療養をしている子どもたちの、意欲を高め、学びに取り組む手助けとなる事業が対象。

応募締切：平成29年8月31日（木）必着
 助成金額：1件あたり50～200万円を想定
 詳細：<http://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/>
 問合せ先：公益財団法人
 ベネッセこども基金助成金事務局
 TEL：04-7137-2570



エクセレントNPO大賞第5回

「エクセレントNPO」の基本条件である「市民性」「課題解決力」「組織安定性」に基づき、3つの賞を用意。非営利組織でがんばっている皆さまを応援。

締切：平成29年9月30日（土）
 賞金額：「市民賞」、「課題解決力賞」、「組織力賞」50万円
 連絡先：「エクセレントNPO」をめざそう市民会議事務局
<http://www.excellent-npo.net/>



平成30年度花博記念協会助成事業

花の万博の理念である「自然と人間との共生」の継承発展・普及啓発や「花と緑」に関連する科学技術や文化などの発展・交流に貢献する事業を助成対象としています。

応募受付期間：平成29年8月1日（火）～9月15日（金）
 助成の金額：必要経費の総額の2分の1以内
 詳細：expo-cosmos.or.jp/main/zyosei/log/30/invitation.html
 問合せ先：公益財団法人
 国際花と緑の博覧会記念協会企画事業部第1課
 TEL：06-6915-4516



7月22～23日の大雨で、被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。
 一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

市民活動に関する情報が集まっている

秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/>

ぜひ参考にご覧ください。

申請書の書き方等の相談を受け付けております。
 ご相談（0182-33-7002）ください。

休館日（木曜日）

編集スタッフの
つぶやき VOL.4

協働連携推進事業総括
高橋 茂

7月22日の記録的な大雨。夕方避難勧告を知らせる速報に妻の実家の地名が・・・80代半ばを過ぎた妻の両親は二人とも耳が聞こえず避難指示のお触れが回っても多分気がつかない。それに寝るのが早い。もしかしたらヤバイかも！すぐにクルマを走らせた。家に着くなり鍵を開け寝室へ。案の定寝ていた。避難勧告などどこ吹く風。幸い水害は避けられたものの、すぐ近くまで水没エリアは迫っていた。どんなに連絡体制や助け合いのしくみが整ったとしても、もう一步踏み込まないと助けられない人たちがいる。難しい。福祉に共通する課題かも。

秋田県ボランティア・NPO活動ニュース県南版

ハンサン

2017年8月1日発行
8月号 VOL.124

発行：秋田県あきた未来創造部地域の元気創造課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245
 編集：特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター
 （南部市民活動サポートセンター）
 〒013-0046 横手市神明町1-9



南部市民活動サポートセンター
 【相談受付】月・火・水・金 9:00～18:00 土 9:00～17:00
 【休館日】木曜日・年末年始（12/29～1/3）
 〒013-0046 横手市神明町1-9
 TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038
 E-mail : ssc7002@luck.ocn.ne.jp
<http://www.kennanpo.org/project/supportcenter.html>